オンプレミスの ONTAP データをクラウドコンプライアンスでスキャン

Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
May 06, 2021

目次

オンプレミスの **ONTAP** データをクラウドコンプライアンスでスキャン

オンプレミスの ONTAP システム上のデータは、 Cloud Compliance を使用して直接スキャンできます。オンプレミスの NFS または CIFS データを Cloud Volumes ONTAP 作業環境にレプリケートして、それらのデータ保護ボリュームの準拠を有効にすることもできます。最適な方法をお選びください。

オンプレミスの **ONTAP** 作業環境内のデータをスキャンする

ある場合 "ONTAP クラスタが検出されました" 作成したボリュームを Cloud Manager の作業環境に追加すると、オンプレミスクラスタから直接ボリュームデータをスキャンできます。

オンプレミスの ONTAP クラスタ向けの Cloud Compliance で作業を開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

Cloud Compliance インスタンスを導入します

"Cloud Manager に Cloud Compliance を導入" インスタンスが展開されていない場合。

オンプレミスの作業環境で **Cloud Compliance** を有効にし、を選択します スキャンするボリューム

コンプライアンス * をクリックし、 * 構成 * タブを選択して、すべてのボリュームまたは特定のボリュームのコンプライアンススキャンを有効にします。

ボリュームへのアクセスを確認

Cloud Compliance が有効になったので、すべてのボリュームにアクセスできることを確認します。

- クラウドコンプライアンスインスタンスには、それぞれのオンプレミス ONTAP システムへのネットワーク接続が必要です。
- セキュリティグループが、 Cloud Compliance インスタンスからのインバウンド接続を許可する必要があります。
- NFS ボリュームのエクスポートポリシーで、 Cloud Compliance インスタンスからのアクセスを許可する必要があります。
- CIFS ボリュームをスキャンするには、 Cloud Compliance で Active Directory のクレデンシャルが必要です。

  コンプライアンス * > * 構成 * > * CIFS クレデンシャルの編集 * をクリックし、クレデンシャルを入力します。

スキャンするボリュームを管理します

スキャンするボリュームを選択または選択解除すると、 Cloud Compliance によるスキャンが開始または停止します。

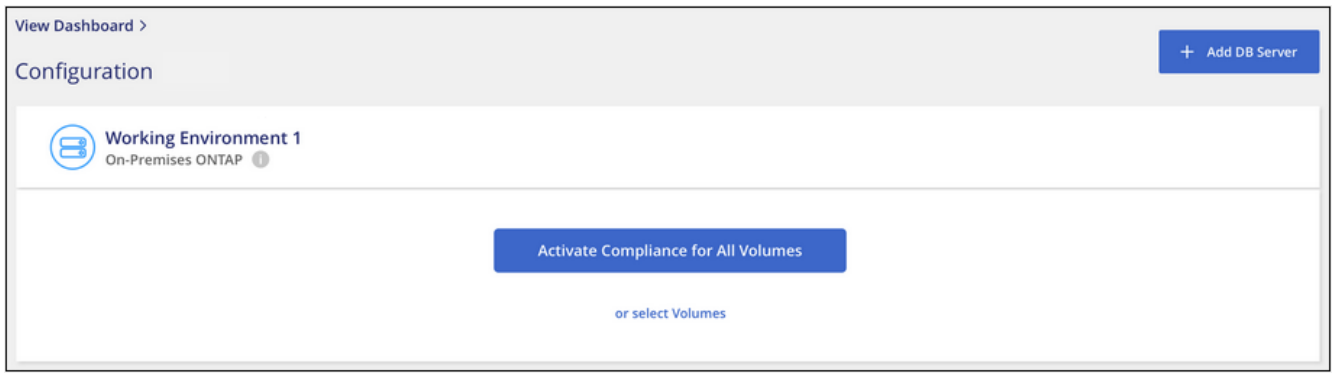
Cloud Compliance インスタンスの導入

"Cloud Compliance の導入" インスタンスが展開されていない場合。

Cloud Compliance は、オンプレミスの ONTAP クラスタをスキャンする際に、クラウドまたはオンプレミスの場所に導入できます。

作業環境での Cloud Compliance の有効化

1. Cloud Manager の上部で、 * Compliance * をクリックし、 * Configuration * タブを選択します。



2. 作業環境内のすべてのボリュームをスキャンするには、 * すべてのボリュームのコンプライアンスをアクティブ化 * をクリックします。

   作業環境内の特定のボリュームのみをスキャンするには、 * をクリックするか、 Volumes （ボリューム） * を選択して、スキャンするボリュームを選択します。

   を参照してください "ボリュームのコンプライアンススキャンの有効化と無効化" を参照してください。

Cloud Compliance によって、作業環境で選択したボリュームのスキャンが開始されます。結果は、 Cloud Compliance ダッシュボードで最初のスキャンが完了するとすぐに表示されます。所要時間はデータ量によって異なります。数分から数時間かかる場合もあります。

Cloud Compliance がボリュームにアクセスできることの確認

ネットワーク、セキュリティグループ、およびエクスポートポリシーを確認して、 Cloud Compliance がボリュームにアクセスできることを確認します。CIFS ボリュームにアクセスできるようにするには、 Cloud Compliance に CIFS クレデンシャルを指定する必要があります。

手順

1. クラウドコンプライアンスインスタンスと、オンプレミス ONTAP システムのボリュームを含む各ネットワークとの間にネットワーク接続があることを確認します。
2. オンプレミス ONTAP システムのセキュリティグループが、クラウドコンプライアンスインスタンスからのインバウンドトラフィックを許可していることを確認します。

そのためには、 Cloud Compliance インスタンスの IP アドレスからトラフィックのセキュリティグループを開きます。

3. NFS ボリュームのエクスポートポリシーに Cloud Compliance インスタンスの IP アドレスが含まれていて、各ボリュームのデータにアクセスできることを確認します。
4. CIFS を使用する場合は、 Active Directory クレデンシャルを使用して Cloud Compliance を提供し、 CIFS ボリュームをスキャンできるようにします。

   a. Cloud Manager の上部で、 * Compliance * をクリックします。

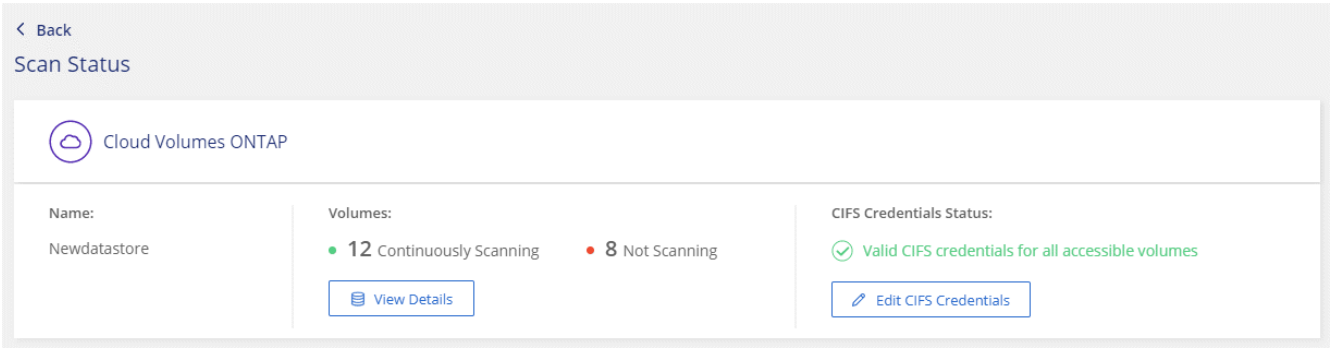
   b. [* 構成 *] タブをクリックします。

ボタンを示す [遵守] タブのスクリーンショット。"]

   c. 各作業環境について、 * CIFS 資格情報の編集 * をクリックし、クラウド・コンプライアンスがシステム上の CIFS ボリュームにアクセスするために必要なユーザー名とパスワードを入力します。

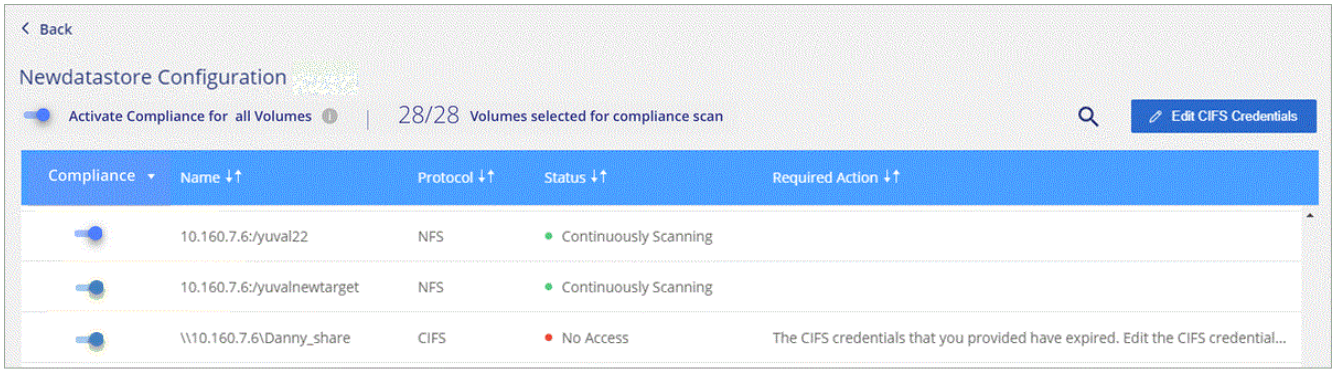
   クレデンシャルは読み取り専用ですが、管理者のクレデンシャルを指定することで、 Cloud Compliance は昇格された権限が必要なデータを読み取ることができます。クレデンシャルは Cloud Compliance インスタンスに保存されます。

   クレデンシャルを入力すると、すべての CIFS ボリュームが認証されたことを示すメッセージが表示されます。



5. _Configuration_page で、 *View Details * をクリックして、各 CIFS および NFS ボリュームのステータスを確認し、エラーを修正します。

   たとえば、次の図は 3 つのボリュームを示しています。 1 つは Cloud Compliance インスタンスとボリュームの間のネットワーク接続の問題が原因で Cloud Compliance がスキャンできないボリュームです。



SnapMirror を使用してオンプレミスの ONTAP データをスキャンする

オンプレミスの NFS または CIFS データを Cloud Volumes ONTAP 作業環境にレプリケートし、それらのデータ保護ボリュームのコンプライアンスを有効にすることで、オンプレミスの ONTAP データをクラウドコンプライアンスでスキャンできます。

ヒント

でオンプレミスの ONTAP システムを検出することを推奨します Cloud Manager を使用して、作成したものを作業環境に追加します 可能です "Cloud Compliance からシステム上のデータを直接スキャンできます"。

が必要です "Cloud Manager に Cloud Compliance のインスタンスを導入済みである"。

手順

1. Cloud Manager で、オンプレミスの ONTAP クラスタと Cloud Volumes ONTAP の間に SnapMirror 関係を作成します。
   a. "Cloud Manager でオンプレミスクラスタを検出"。
   b. "オンプレミスの ONTAP クラスタとの間に、 SnapMirror レプリケーションを作成 Cloud Manager から Cloud Volumes ONTAP にアクセスします"。
2. Cloud Manager から、 SnapMirror データが格納されている Cloud Volumes ONTAP 作業環境で Cloud Compliance をアクティブ化します。
   a. 「 * キャンバス * 」をクリックします。
   b. SnapMirror データを含む作業環境を選択し、 * コンプライアンスを有効にする * をクリックします。

      "Cloud Compliance の有効化に関するサポートが必要な場合は、ここをクリックしてください Cloud Volumes ONTAP システム"。
3. _Configuration_page の上部にある * DP ボリュームへのアクセスを有効にする * ボタンをクリックして、 Cloud Compliance が DP ボリュームにアクセスできるようにします。

   NFS ボリュームが有効になっているが、 CIFS ボリュームには Active Directory 管理者クレデンシャルの入力が必要である。
4. スキャンする各 DP ボリュームをアクティブ化するか、 * すべてのボリュームのコンプライアンスのアクティブ化 * コントロールを使用して、すべての DP ボリュームを含むすべてのボリュームを有効にします。

を参照してください "データ保護ボリュームをスキャンしています" を参照してください。